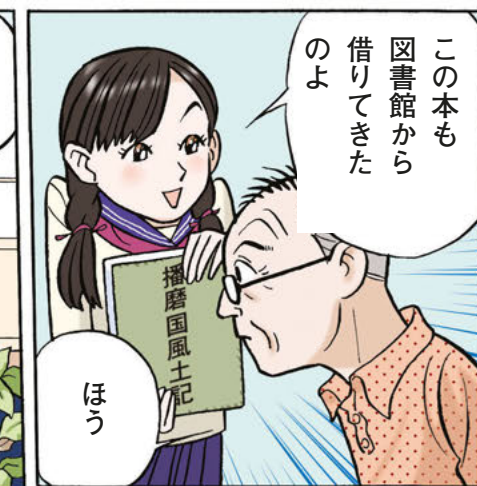
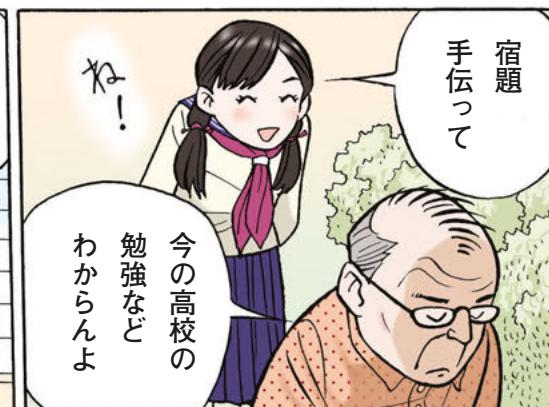
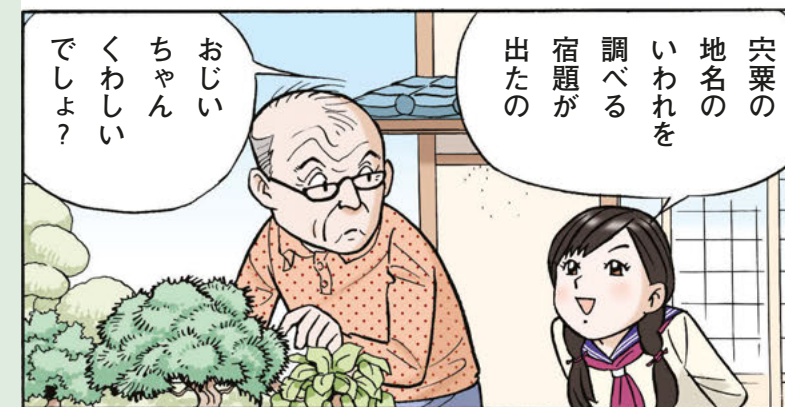
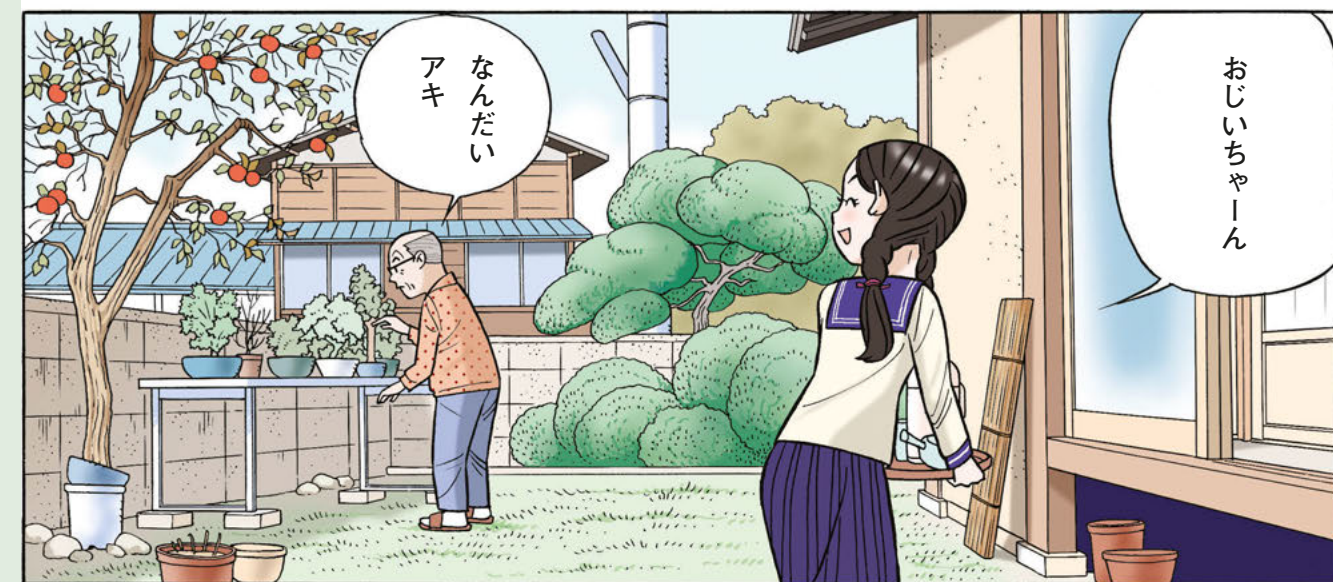
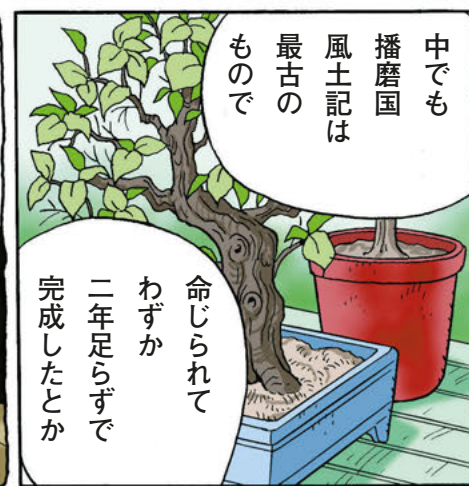
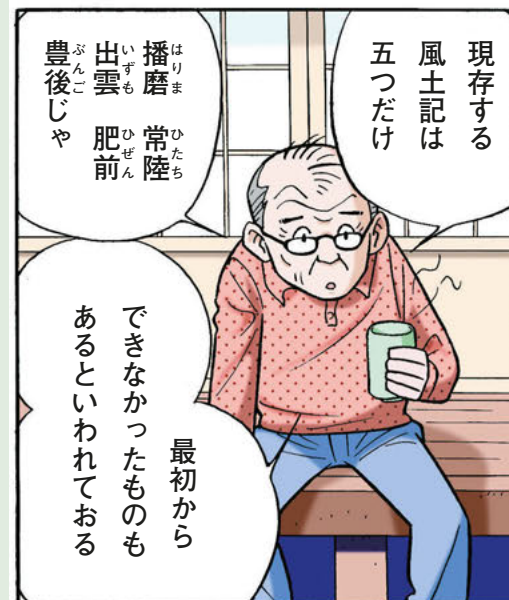
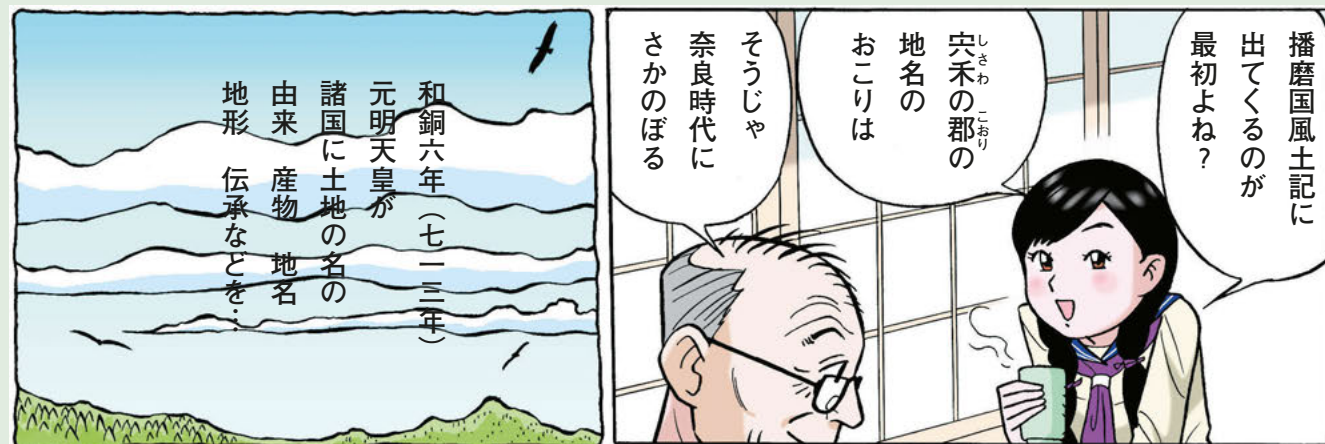






そもそも
 穴禾の郡が
 揖保の郡から分けて
 作られたのは
 ナニワノ
 ナガラ
 トヨサキノ
 スメラミコト
 (孝徳天皇の
 世のことじゃった

孝徳天皇と
 言え
 なかのあえのあじ
 中大兄皇子と
 なかとのあまたり
 中臣鎌足による
 大化改新で
 天皇となった
 人じゃ

穴禾の郡が
 揖保の郡から
 独立したとき
 七つの里が
 あった

比治里
 高家里
 柏野里
 安師里
 右作里
 雲箇里
 御方里

神話時代に
 さかのぼり
 播磨国
 風土記を
 見てみよう！



韓より
 渡って来た
 アメノヒボコノ
 ミコトは
 宇頭川(揖保川)
 河口で

アシハラノ
 シコオノミコトに
 会う



ヒボコは
 シコオに
 自分の宿る
 所がほしいと
 告げた



シコオが
 海中を
 許すと

ヒボコは
 剣で海水を
 かきまぜ
 そこに宿った

これは
 国を譲れと
 という意味だった



シコオは
 その勢いの
 さかんなのに
 驚き

急いで
 国を占拠
 しようと
 歩き！



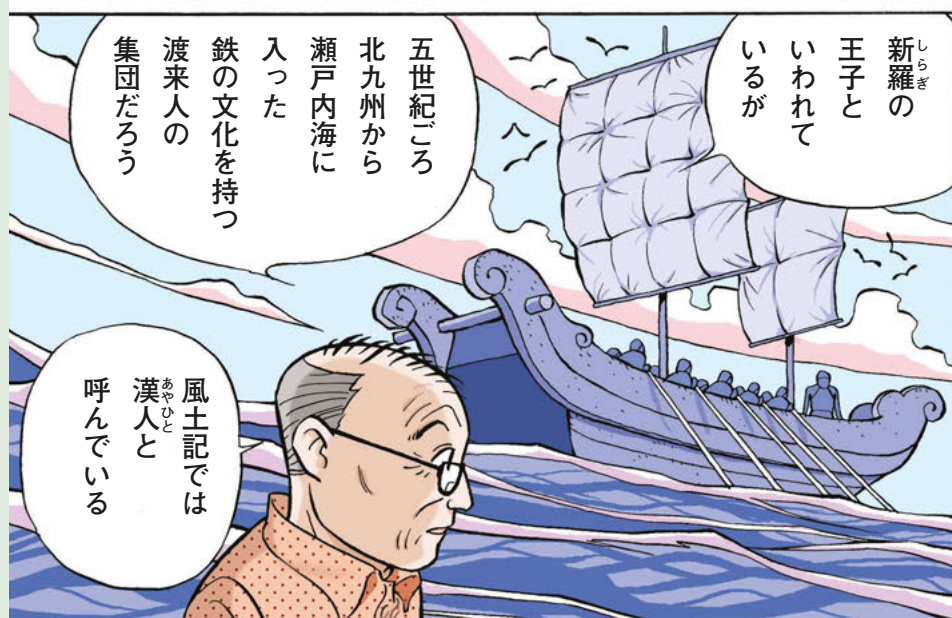
丘に登って
 食事を
 したら
 米粒が
 口から
 落ちた

ゆえに
 そこを
 いいほのちか
 粒丘と
 名づけた

イイボノ
 オカから
 揖保の
 名がついた



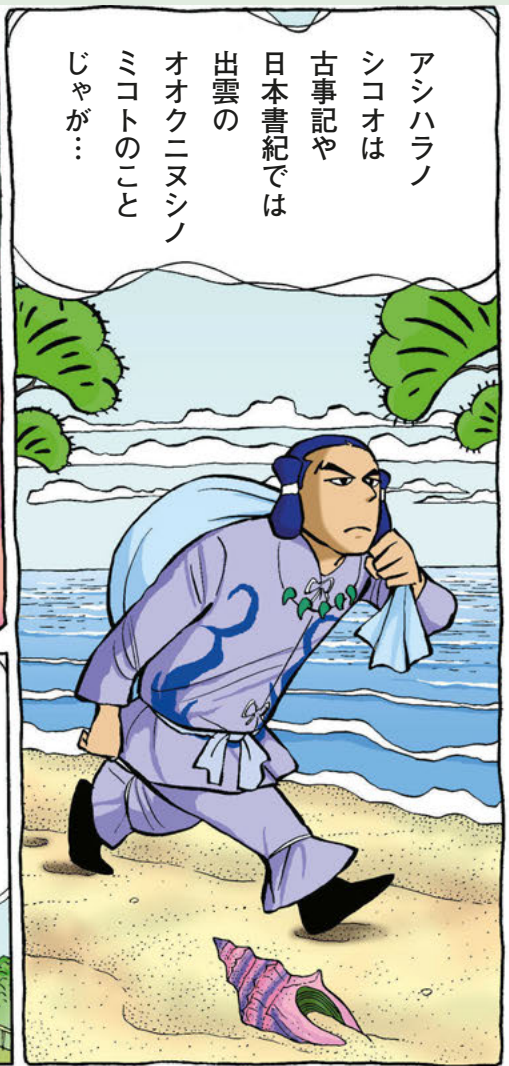
アメノヒボコノ
 ミコトって
 韓から
 日本列島に
 入って来たの？



新羅の
 王子と
 いわれて
 いるが

五世紀ごろ
 北九州から
 瀬戸内海に
 入った
 鉄の文化を持つ
 渡来人の
 集団だろう

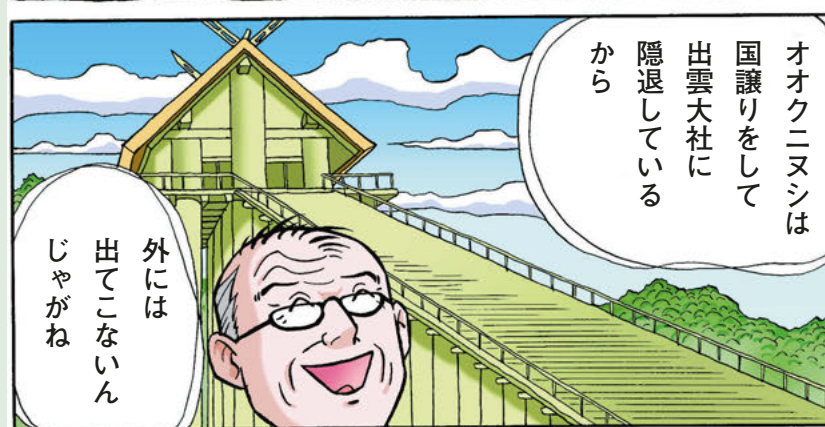
風土記では
 あやひと
 漢人と
 呼んでいる



アシハラノ
シコオは
古事記や
日本書紀では
出雲の
オオクニヌシノ
ミコトのこと
じゃが…



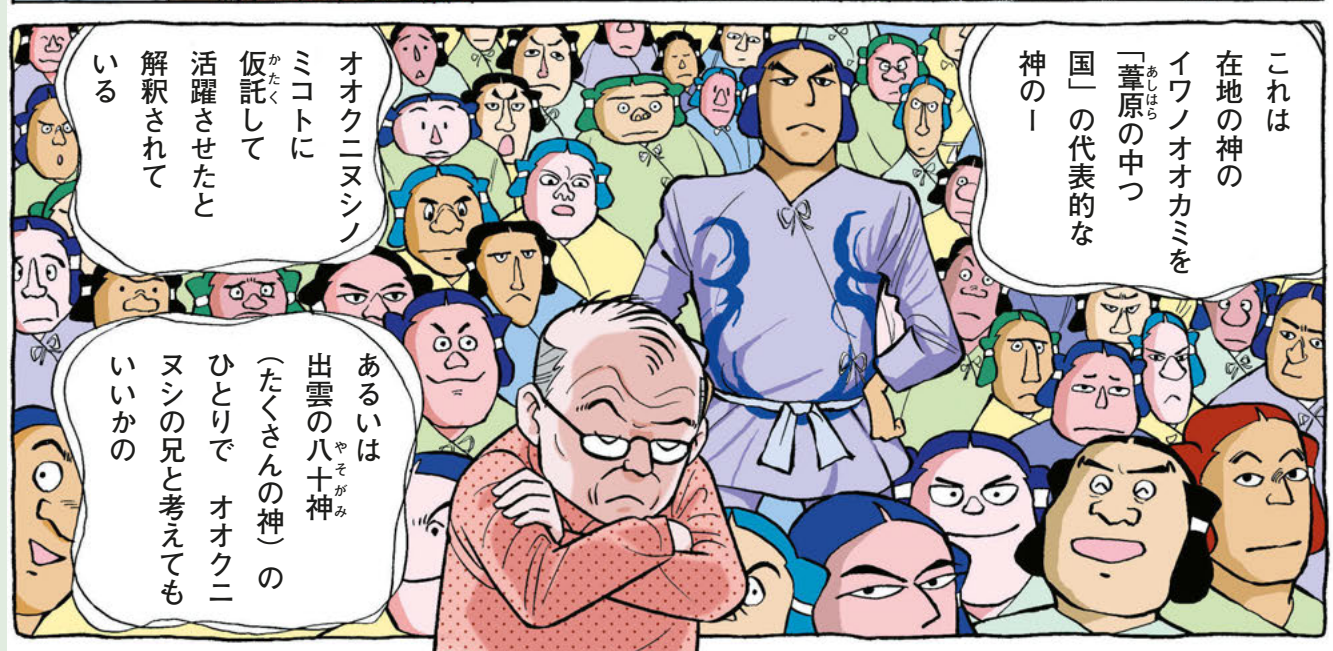
播磨国
風土記では
このアシハラノ
シコオと
イワノオオカミ
(伊和大神)との
混同があった
おる
同じ神様と
して書かれて
おる



オオクニヌシは
国譲りをして
出雲大社に
隠退している
から
外には
出てこない
じゃがね



イワノ
オオカミは
播磨国を
作り固めた
神様よね？
そうじゃ
播磨国
風土記だけに
出てくる
神様なんじゃ



これは
在地の神の
イワノオオカミを
「葦原の中つ
国」の代表的な
神のー
オオクニヌシノ
ミコトに
仮託して
活躍させたと
解釈されて
いる
あるいは
出雲の八十神
(たくさんさんの神)の
ひとりだ オオクニ
ヌシの兄と考えると
いいかも



このシコオと
ヒボコの二神はー



イワノオオカミ
が山川谷尾の
境を巡行した
ときー

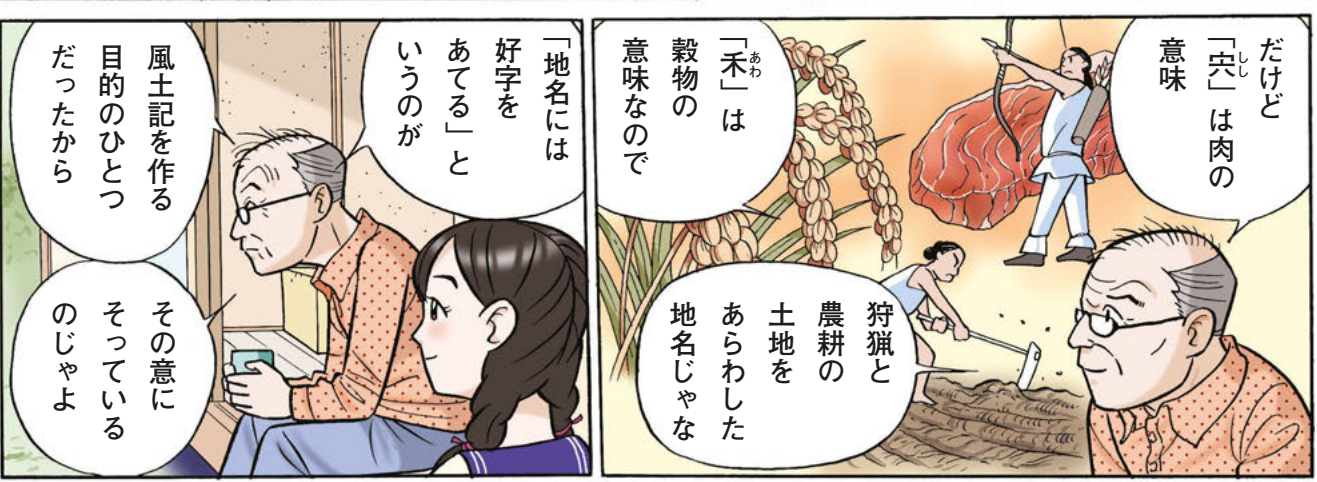
揖保川を
さかのぼって
土地を占拠
しようと
争うこと
になる

舌を出した
大鹿に
出会った

イワノ
オオカミは、
矢は彼の
舌にある
といった



「鹿に会う」
(シシアウ)を
もって穴禾と
名づけた…
そうじゃ
そこは
矢田村と
いった
そうじゃが
その村の
現存地は
わからない



「地名には
好字を
あてる」と
いうのが
「穴」は肉の
意味
「禾」は
穀物の
意味なので
狩猟と
農耕の
土地を
あらわした
地名じゃな

風土記を作る
目的のひとつ
だったから
その意に
そっている
のじゃよ

イワノオオカミ
があるところで
「いすか（食事）
をした

ゆえに そこを
須加（すか）といつたが
のちに
名を改めて
安師（あなし）とした

石で川の
源を塞いだ

だから
安師川の
特に鹿ヶ壺の
少し下流は
水が少ない

そして
その土地の
アナシヒメノ
カミに求婚
した

イワノオオ
カミは
もてなかった
の？

オオカミの
妻となった
コノハナサクヤ
ヒメノミコトは
その姿が
美麗（うつくし）かった

だが
ヒメは固く
ことわった

イワノ
オオカミは
いかり

いや
そんな
ことはない

だから
ヒメのいた
その土地を
雲箇（うろか）と言っ

一宮町（いちみや）
閨賀（うるか）だろう

アシハラノ
シコオノミコトが
国を占拠したとき
「この地は
小さく狭く
室の戸の
ようだ」と
言った

ゆえに
表戸（うわど）と
言う

山崎町
宇原（うはら）
下宇原（しもはら）だろう

ゆえに
奪谷（うばいたに）という

争いで形が
曲がって藤曼（ふじづる）の
ようになった

今の一宮町（いちみや）
染河内地区（せんがわうち）
あるいは
山崎断層の
ことを言った
ともいわれている

アメノヒボコノ
ミコトが
「川の音が
甚だ高い」と
言ったので
川音村（かわおと）：

シコオと
ヒボコの
二神が
谷を奪い
合った

二神が川で
いなく馬に
出会った！

今の
川戸（かわど）だな

烈しい
戦いだっ

その川は
菅野川だ
いなく馬は
二神の戦いの
暗示（あんし）じゃな

